



Subaru

男声合唱団

ニュース №355

'12. 05. 10



モツコウバラ

連休中も熱心にレッスン

5月4日

□ 5月4日（金）は岡邑さんの体操にはじまり、檀先生のヴォイストレーニングと指揮、森さんのピアノで、「春を待つ」、「白樺」、「芭蕉布」、「天の火」、「なぜ？」、休憩をはさんで、「おらあこごがいい」、「故郷の四季」、「歓びのナーダム」「フィンランディア」、最後に「川の流れのように」をレッスンしました。参加は全29名でした。

□ レッスン一口メモ

「春を待つ」最後のデクレッセンドからPPPの余韻を大切に。
 「白樺」BR, BS しらかば の♯ファ甘い、もっと正確に。
 「芭蕉布」出だしの頭をそろえる。
 「天の火」36小節 ひとは ♯ド低い。43～48小節緊張感をもって。
 「なぜ？」12/8のリズム大切に。言葉を一言ずつ刻まない。
 「おらあこごがいい」10～14小節言葉をはっきり。
 「故郷の四季」村祭りの「アー」重くならない、明るく。
 「ナーダム」装飾音に注意。
 「川の流れのように」歌詞をしっかり覚えよう。

□ 連絡事項

1. 「輝け命の行進・スタート集会」（年金者組合）

5月30日（水）13時 大阪城公園野外音楽堂

14:15ステージで「この勝利ひびけどろけ」、「ガンバロー」

2. 立川さん、若園さんより憲法集会報告。

3. 岡邑さんから「どんなとこ？コンサート」進捗状況報告。

「うたごえ新聞」カラーページで大きく掲載（3/4頁参照）。結果は全国で注目しています。

（編集子欠席のため記事は乾さんにご協力願いました。）

公演・コンサート曲をレッスン

5月6日

□ 5月6日（日）は強化レッスン日。岡邑さんの体操にはじまり、本並先生のヴォイストレーニングと指揮、森さんのピアノで、「春を待つ」、「白樺」、「芭蕉布」、「天の火」、休憩をはさんで、「なぜ？」、「おらあこごがいい」、「故郷の四季」、伊藤さんの指揮で「歓びのナーダム」と「川の流れのように」、再び本並先生の指揮で「フィンランディア」と「ゆらゆら春」をレッスンしました。参加は全26名でした。

帰ってどんなとこ？コンサート

「カラオケファン獲得作戦」

5月6日

- 5月6日のレッスン後、「カラオケファン獲得アクション」を行いました。カラオケファンを「どんなとこ？コンサート」に誘おうというものです。いろいろやります！
- 2人組に別れて、梅田、谷町、天王寺近辺のカラオケルームに張り込み、歌い終わって出て来た人にアタックしました。
- 「カラオケファンのみなさんへ」と書いた勧誘ビラとチラシ、チケットがセットになったものを手渡し、「どんなとこ？コンサートに来て、一緒に昂で歌いませんか」と説きました。あまり人が出てこないカラオケルームもありましたが、それぞれのチームが奮闘し、その後、時間がある人は「興隆園」で反省会をしました。

守口9条の会 公演

再掲

- 5月12日（土） 12時（リハーサル） 14時出演
- 守口市教育文化会館（中央公民館） 5F
地下鉄谷町線守口駅④出口 又は 京阪守口市駅歩 10分
- 青シャツ、9条バッジ
- 春を待つ、白樺、芭蕉布、天の火、なぜ、おらあこごがいい、故郷の四季より、歓びのナーダム、
フィンランディア 、川の流れのように
(配布別紙から抜粋)

なくそうえん罪救あう無実の人々 関西市民集会 Part5

- 5月26日（土） 13時開場 13時30分開会
- 北区民センター大ホール 参加協力金1口500円
- 今年も冤罪犠牲者とその家族が訴えます。
- 夙願はなぜ起きるのかどうして作られるのか。劇団きづがわのみなさんが迫真の演技でおつたえします。
- 主催：5・26関西市民集会実行委員会/たんぽぽの会（関西えん罪事件連絡会）
(配布チラシから抜粋)

5月7・14日(月)

週刊 うたごえ

来たれ若人！来たれ熟年！

男声合唱団 昂の挑戦



私の好きなこの街コンサート



▲昨年11月21・22日、日本のうたごえ祭典in千葉を終えたその足で、同行有志と向った被災地岩手の陸前高田、大船渡での復興支援コンサートで

歌う楽しさ

一つは、一気に団員を増やすためのコンサートを三

コンサートへの呼びかけ
は、現在のところ全て好意
的に受け止められていま
す。

府下300力所訪問
団をアピール
80人の団へ

地域の情報誌に顔がきく人もあります。9万部発行の一誌からは「練習の様子を見に行きます。5月号」写真入りで載せますので、月20日にはうかがいます」と連絡をいたしました。6万部発行の地域情報誌に、5月号に写真入りで載せていただこうことが決まっています。

昨年7月、総会で団員を倍にすることを決めました。最大の理由は昇の平均年齢が70歳近くになってしまったことです。8月、5人のプロジェクトチームを立ち上げ半年間討議を重ねました。



▲コンサート6月9日(土)14時。阿倍野区民センター。参加費500円(資料代)。☎090・6058・5652立川。URL <http://homepage2.nifty.com/subaru-mcs>

コンサートの会場がおさんで溢れるのか、がら空きになるのか、両方の心配をしながら取り組みは進んでいます。人生70年、男たちのドラマの結果が出るの

の訪問が始りました。目標は「チラシは何枚ぐらい要りますか」という質問に対し、「こちらで印刷して全団体に配達する」とお答えいただきました。労働組合や保険医協会など、この取り組みは、うたごえです。

歌う余裕ない：
さて、当日は…

運動のすそ野を広げる活動などの医療関係、年金者組合、9条の会、革新懇、借地借家組合、スナックなど、地元の飲食業とさまざまです。おさかの成功にもつながるものと確信し、2つの事を決めました。

組合員に配ります。ボスターはすぐに貼らせてもらいます」と応えていただきました。新日本新婦人の会では、「うちのお父ちゃん、退職後、家に引きこもったままで、このままでは認知症になります。コンサートには必ず連れて行きます」という連絡をいただきまし



「わした島海の青さと空の青」

「芭蕉布」

吉川安一/作詞 普久原恒勇/作曲
石若雅弥/編曲



「ちょっとなら触っていいよ持つてます」

西島さんの写真あそび

「安里屋ユンタ」



「安里屋ユンタの古里竹富島」

沖縄民謡 石若雅弥/編曲



沖縄のリズム楽器「サンバ(三板)」。サンシン製作の際の余り木で作るそうです。したがって高級品は琉球黒檀製。誰か演奏したい人はいませんか。



水牛車の屋根裏には何か所も新歌詞が貼られ乗客に唱和をもとめる。

水牛車



「安里屋ユンタ弾き歌う御者クマヤ」